

4文化協会が4月に合併しました

市民文化会館で記念文化祭を開催

前橋市・大胡町・宮城村・粕川村の四文化協会が合併し、四月から新しい前橋市文化協会がスタートしました。そこで、今回は新生前橋市文化協会の会長・樽井哲さんに合併までの経緯や苦労、これからの目標などについて、お聞きしました（担当は市民編集委員・須藤、三輪）。

問い合わせは生涯学習課 890 5825へ。

四百点もの作品が並んだ展示室



コーラスで美しいハーモニーを



4人の文化協会長が合併調印書に署名

合併後も今までと同じ活動で

文化協会には、加盟する各団体の連絡調整、さまざまな活動の支援、市民の文化レベルアップという、三つの大きな役割があります。県内の市町村にはすべて文化協会が活動しています。これは全国的にも珍しく、本県の文化レベルの高さを示しているともいえるでしょう。

昨年十二月の市町村合併に伴い、前橋市・大胡町・宮城村・粕川村の四文化協会も合併に向けた取り組みを着実に進めてきました。

現在、各旧町村の文化協会はそれぞれ支部となり、旧前橋市文化協会の二十二部会とともに活動をしています。しかし、将来的には各支部に属する団体が

それぞれ部会に入ることによって、なだらかに一緒になっていくことが、望ましいと考えているそうです。

平成十三年に国民文化祭が本県で開催されて以来、前橋広域市町村圏で文化祭を開いてきた経緯もあり、合併への取り組みはともスムーズに進んできました。

また、合併してからも、それぞれの文化協会で長年培ってきた活動が引き続き以前と同じようにできるよう、役員体制をはじめとした組織づくり、新しい会則が四文化協会の総会で承認。さらに、一月二十日に行われた合併調印式を経て、確認されました。

文化祭で舞台発表や展示を

先月五日・六日、市民文化会館で、第五回前橋広域文化祭・新生前橋市文化協会発足記念文化祭が、盛大に開催されました。

掲載写真のように、歌や踊りなどの舞台発表に四十二団体が出演。また、書道や絵画、写真などの展示に四百点もの会員作品がずらりと並びました。特に、三支部の会員となる皆さんは、

市民文化会館の大きなステージや広い展示室で、日ごろの活動成果を発表できることに大変喜んでいました。

正式な合併を前にして、この文化祭の開催で会員同士が互いに交流を深め、高め合つても良い機会になりました。地域文化の担い手である会員の皆さんのさらなる活動の発展が望まれています。